

建築玩具用屋根装置

実 願 昭 41-70295
出 願 日 昭 41. 7. 26
考 案 者 坂本弥平
東京都港区赤坂青山高樹町3
出 願 人 三共化成工業株式会社
東京都北区西が丘1の48の9
代 表 者 坂本弥平
代 理 人 弁理士 丹羽宏之

図面の簡単な説明

第1図は建築玩具用屋根装置の一実施例を示す斜面図、第2図は同上の組立てを表わす斜面図である。

考案の詳細な説明

本考案は建築玩具用屋根装置に関するものである。

本考案の目的とする処は数個の嶺部材、瓦部及び棟木部材を合成樹脂により成形し之等の部材の組成により好みの大きさの屋根を容易に形成できるようにした建築玩具用屋根装置を提供するにある。

従来の建築玩具に於ける屋根は一般に屋根全体が一体構造となつてゐるため屋根の大きさによりその模型の大きさが限定されてしまう欠陥があり又、建物の内部構造を透視する際には屋根全体を取りはずさなければならぬ不都合があつた。

本考案は上記のような従来の屋根の欠陥を改良すべきことを目的としたプラスチック製の建築玩具用屋根装置に関するものである。

次に本考案の一実施例を図面について説明すれば、本考案は第1図に示す如く嶺部材A、瓦部材B及び棟木部材Cの3種類の部品から構成される。

而して之等の部材A、B、Cは硬質合成樹脂により各別一体的に成形されるもので、先づ嶺部材Aは側面傘状に拡開した瓦片部 a_1 、 a_1 の頂部に嶺片部 a_2 を突設し、該嶺片部 a_2 の下側裏面には長尺な棟木部材Cの嵌凹部1に嵌着できる嵌合凸部2を突設してあり而かも、両瓦片部 a_1 、 a_1 の両端縁には二又はそれ以上の嵌合凹部3が

穿つてある。

又、瓦部材Bはその上端縁には嵌合凸部4を又その下端縁には嵌合凹部5を二又はそれ以上設け互いに他の瓦部材B及び嶺部材Aの嵌合凹部3と嵌合連結できるようにして全体を略々正方形の扁平状に形成してある。

叙上の構成に基づいてその構築方法を説明すれば、先づ棟木部材Cの嵌合凹部1に順次と嶺部材Aの嵌合凸部2を嵌合させ、次いで該嶺部材Aの瓦片部 a_1 、 a_1 の端縁に穿つた嵌合凹部3に夫々瓦部材Bの上端縁に突設した嵌合凸部4を嵌着して最上段の瓦部材Bを連結する。同様にして他の瓦部材Bをその上端縁に突設した嵌合凸部4を最上段の瓦部材Bの下端縁に穿つた嵌合凹部5内に嵌合しが次段の瓦部材Bを連結する。

斯様にして順次と瓦部材Bを連結して第2図に示すが如き好みの大きさの屋根体を構築できるものであつて建築内部を透視したい時は嶺部材A及び瓦部材Bの全部又はその必要数を透明部材で成形することにより可能となる。

本考案に拠れば瓦部材はその上下端縁に嵌合凹部及び嵌合凸部を設け、その嵌合凸部及び嵌合凹部を利用して多数の瓦部材を上下方向に連結でき而かも最上段の瓦部材は嶺部材の嵌合凹部によつて連結されると共に、該嶺部材は長尺な棟木部材によつて順次と左右方向に連設できるので瓦部材は平面的に構成され茲に実物に近似した屋根体を構築できるものであつて構成部材は嶺部材、瓦部材及び棟木部材の三種類によつて組成され而かも之等の部材は嵌合凸部と嵌合凹部による嵌着結合構造を有するので結合組成に際し他の附屬部材を全く必要としないので簡単に構築できるものであつて構成が簡単で合成樹脂成型が可能であるから廉価量産に適し玩具としては勿論のこと実物模型としても極めて好適である。

実用新案登録請求の範囲

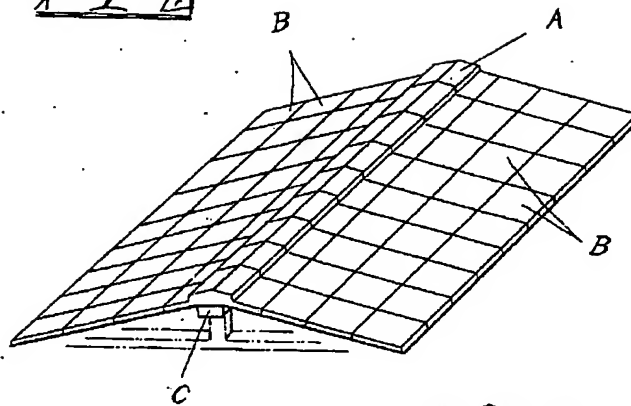
頂部に嶺部材を突設しその両側に側面傘状の瓦片部を突設した嶺部材の下側には長尺な棟木部材の嵌合凹部又は凸部と嵌着できる嵌合凸部又は凹部を設け又、両瓦片部の端縁には嵌合凹部又は凸部を設け又、平面略々方形の瓦部材の上下両端縁には夫々前記嶺部材の嵌合凹部又は凸部と嵌着し且つ他の瓦部材と嵌着できる嵌合凸部又は嵌合凹

部を穿つて成る建築玩具用屋根装置。

引用文献

実 公 昭6-3172

第1図



第2図

